

第38回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」

予稿原稿作成要領（ポスター発表）

下記の注意事項を守って、テンプレートを使用して作成してください（次頁に見本があります）。

- 1) 予稿原稿の枠のサイズの変更はしないでください
- 2) ポスター番号：P-XX（発表番号は事務局側で記入します）
- 3) 和文タイトル：10 pt, 日本語(MS ゴシック)、英数字(Arial)
- 4) 研究が行われた所属（略称）、著者（発表者に）：9 pt, 日本語(MS 明朝)、英数字(Times New Roman)
- 5) 本文：10 pt、日本語(MS 明朝)、英数字(Times New Roman)、100 字以内（枠に収まるようにしてください）
- 6) アブストラクト図は ChemDraw、PDF 等で張り付けてください
- 7) 原稿は白黒で印刷されます。カラー図を用いる場合は出力時の濃淡に注意してください

発表申込メールに添付するファイル(ファイル名は以下の例に従って、「発表者氏名_所属略称」としてください)

- 1) 予稿原稿の Word ファイル(例：有機太郎_大院工.doc)
- 2) 予稿原稿の PDF ファイル(例：有機太郎_大院工.pdf)
- 3) 予稿原稿のアブストラクト図のファイル（ChemDraw ファイル等の描画ソフトファイル）(例：有機太郎_大院工.cdx)

発表申込締切：6月22日（金）<厳守>

参加申込に関して

ポスター発表希望者は必ず参加申込を行ってください（参加申込締切日 7月12日(木)）。

留意事項

ポスター発表申込者宛に7月2日(月)までに発表申込受付通知を電子メールにて行います。申し込みを行ったにもかかわらず、通知が届かない場合は、synth-wakate@chem.osakafu-u.ac.jp にお問い合わせください。

ポスター発表に関してご不明な点があれば、synth-wakate@chem.osakafu-u.ac.jp にお問い合わせください。

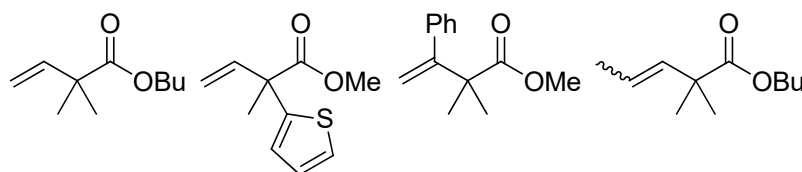
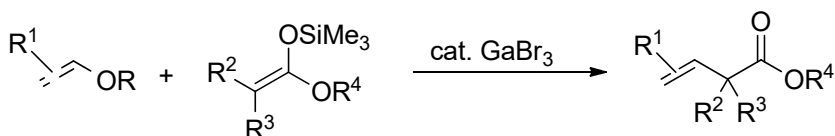
< 見本は次頁 >

見本 1

P-XX エノールエーテルとケテンシリルアセタールとの GaBr₃ 触媒カップリング

(¹有機大院工・²合成大院理) 近江太郎¹、吉野さくら²、淀川花子¹

我々は臭化ガリウム触媒によるエノールエーテルとケテンシリルアセタールのカップリング反応を開発した。本系は広い基質適用範囲を有していることを明らかにし、様々な - アルケニルエステルの合成に成功した。



見本 2

P-XX プレロタキサン法に基づくロタキサン構造に特異な不斉を有する光学的に純粋なロタキサンの合成法の開発

(京阪神大院薬) 阪神虎吉、SMITH J. P.、六甲みどり、和歌山梅子、嵐山大和

ロタキサン構造に固有のキラリティーを有する光学的に純粋なロタキサンを、高効率かつ容易に多種類のキラルロタキサンに導くことができる合成法を開発した。

